



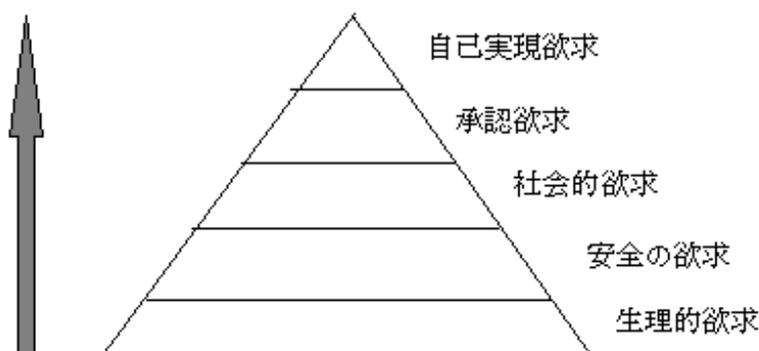
# 並木中等story

令和4年12月23日号②

## 伸びるクラスはみんなで教え合い

※これは12月23日の全校集会での校長講話内容の後半です。

今日も株式会社アビリティートレーニング代表取締役社長で教育の専門家の木下晴弘先生から学んだ内容です。先生が教えていた同じような成績の生徒が集まるクラスで進学実績が大きく違い、その原因を迫及するとある事実が分かったという話の続きです。



マズローの5段階

先生の経験から大きく伸びたクラスが1割、通常が8割、成績が落ちたクラスが1割でした。成績が大きく伸びたクラスの共通点は、クラスで互いが教え合っていたり励まし合っていたということでした。クラスにいじめがないと安全の欲求も満たされ、人の欲求はより高度な欲求に移ります。集団の一員になりたいという社会的欲求、そして、

周りの人から認められたいという承認の欲求です。それが認められると、あるべき自分になろうとする自己実現欲求になります。伸びるクラスは一人で勉強する人が集まっているクラスではなく、互いをリスペクト（尊重）し教え合いながら、みんなで伸びようとしているクラスです。教え合いは学習の定着率で最も高位に当たります。並木中等ではこのようなクラスが多いと思います。お互いを成長させましょう。

※次号は冬休み明けの1月6日に発行します。

## 《祝 日本情報オリンピック本選出場！》

一般社団法人情報オリンピック日本委員会から予選結果の発表があり、本校の5年服部さん、3年上口さん、2年加納さんが優秀賞となり、2月に行われる本選出場が決まりました。おめでとうございます。